

令和5年度 第3回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和6年3月12日（火）午後7時～午後8時45分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

浦出委員・岡本委員・尾柳委員・後藤委員・下影委員・高野委員・多田委員・谷委員・西委員・花田委員・菱池委員・藪上委員・山野委員

（都島区役所）

藤岡区長・土居副区長・吉村総務課長・三井政策企画担当課長・松井まちづくり推進課長・細谷防災地域活性担当課長・高田窓口サービス課長・世古口保健福祉課長・清原こども教育担当課長・坂下健康推進担当課長・筒井生活支援担当課長

4 議題

- (1) 令和6年度予算事業及び運営方針（案）について
- (2) 「都島区まちづくりビジョン」の策定について

5 会議次第

- (1) 開会（藤岡区長挨拶）
- (2) 議事

【吉村課長】

皆さん、こんばんは。本日は、皆様大変お忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。

これより令和5年度第3回区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます総務課長の吉村でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは初めに、区長の藤岡よりご挨拶させていただきます。お願いいたします。

【藤岡区長】

皆様、こんばんは。藤岡でございます。

本日は大変お忙しい中、区政会議にご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、平素より市政、区政全般にわたりましてご理解、ご協力賜りますこと、感謝申しあげます。議員の先生におかれましても、大変お忙しい中、オブザーバーとしてお越しいただきましてありがとうございます。

本日の議題でございますけれども、令和6年度予算事業及び運営方針（案）について、そして「都島区まちづくりビジョン」の策定についてでございます。

議題（1）令和6年度予算事業及び運営方針（案）については、予算案でございますので、今、まさに市会のほうでご審議いただいている途中でございますけれども、予算案についてご説明させていただきまして、皆様方のご意見をいただけたらと思っております。

そして、議題（2）「都島区まちづくりビジョン」の策定についてでございますが、都島区では、都島区将来ビジョン2025をはじめまして、都島区地域福祉ビジョンや都島区地域防災計画を策定しまして、区の地域特性や実情に応じた施策・事業を展開して、区の特性を生かしたまちづくりに取り組んでいるところでございます。

一方で、昨今のDX化の進展、そして都市の公共空間の再整備などの環境の変化に伴いまして、まちや地域のあり方、そして行政サービスの在り方を捉え直す必要があると感じております。

こうした背景から、都島区の人流データ、そして各種ビッグデータを精査・分析することで、中長期的な視点でまちの強み、そして課題を明らかにし、また一方で、社会実験イベントに対する区民の満足度分析などを生かしまして、目標とする将来像を定め、その実現に向けた施策・事業を戦略的に展開していくための指針として都島区まちづくりビジョンの策定に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

こちらにつきましても、概要やスケジュール案をご説明させていただきますので、皆様方のご意見をいただけたらと思っております。

限られた時間ではございますけれども、委員の皆様のご意見をいただく実りある時間にしたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【吉村課長】

それではここで、会議の進行につきまして、委員の皆様にご2点お願いがございます。まず、議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち、現時点で12名がご出席されておりますので、定足数を満たしておりますことを報告させていただきます。

なお、石川委員、屋宮委員、江川委員、そして吉村委員におかれましては、本日もご欠席の旨、ご連絡をいただいております。また、藪上委員と高橋委員におかれましては、恐らくこちらに向かっておられるものだと思います。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

右肩に資料1と振っておりますA4縦の「令和6年度予算事業及び運営方針（案）について」、次に右肩に資料2と振っておりますA4縦の「令和6年度都島区運営方針（案）」、右肩に資料3と振っておりますA4横の「区の将来像『都島区まちづくりビジョン』の策定について」、最後に、右肩に参考資料と振っておりますA4縦の「令和6年度予算事業一覧」、以上4点が本日の資料になります。そろっておりますでしょうか。

続きまして、本日ご出席の議員の皆様方をご紹介させていただきます。

大阪市会より荒木議員でございます。

【荒木議員】

よろしく申し上げます。

【吉村課長】

ありがとうございます。

なお、大阪市会、大西議員、岡田議員、大阪府議会、魚森議員におかれましては、ご欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

それでは、これより高野議長に議事進行をお願いいたします。高野議長、よろしくお願いいたします。

【高野議長】

皆さん、こんばんは。今、議事運営を仰せつかりました議長の高野です。

議題に入っていきたいと思います。前回、初めて参加されたという方も多いんですけども、今回もたくさんの出席を賜りましてありがとうございます。積極的なご発言、またご質問、どんなことでも構いませんので、ぜひお願いいたしたいと思います。

それでは、議題に入っていきたいと思います。

まず、議題(1) 令和6年度予算事業及び運営方針(案)について、事務局、三井政策企画担当課長から説明をお願いします。それでは、お願いします。

【三井課長】

事務局の政策企画担当課長、三井でございます。失礼して座って説明させていただきます。

まず私から、資料1、令和6年度予算事業及び運営方針(案)についてご説明いたします。

まず、資料1ですけれども、都島区では、「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向けまして、区の運営方針を策定し、4つの経営課題を設定しております。その4つの経営課題ごとに主な取組を定めておりまして、資料の三角形、ビジョンの3つの柱として記載しております。

明日に誇れるまちにつきましては、魅力あるまちづくり、未来の都島を担う人材育成を掲げております。

人がつながるまちでは、コミュニティ豊かなまちづくり、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり、安心して子育てできるまちづくりを、安心のまちでは、防災のまちづくり、防犯のまちづくり、安全で美しいまちづくりを、区役所力の強化では、区民の声が区政に反映される仕組みづくり、区民が満足・納得できる区役所運営をそれぞれ掲げております。

詳しくは後ほどご説明いたしますけれども、下の囲みに記載しておりますとおり、委員の皆様には、資料2、令和6年度都島区運営方針(案)及び参考資料1、令和6年度予算事業一覧をあわせてご覧いただき、ご質問や事業推進に係るアイデアをお聞かせいただきたいと思います。

それでは、資料2、令和6年度都島区運営方針(案)をご覧ください。

先ほど申し上げました4つの経営課題ごとの主な取組について、詳しく掲載しております。

まず1ページ目、先ほど申しあげました区の目標を記載し、その下に、区の使命として3項目、「区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現」「地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実」「水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成」を掲げております。

また、その下に、区運営の基本的な考え方として、「幸せになれるまち、都島区」の実現、区民の参画・協働によるまちづくりを進めることとしております。

重点的に取り組む経営課題として、先ほど4項目をあげておりました、それぞれ各分野における課題と、それを解消するための主な戦略について記載しております。

次のページから詳しく記載しておりますので、運営方針の3ページ目をご覧ください。

経営課題1、安全・安心のまちづくりですが、防災のまちづくり、防犯のまちづくり、安全で美しいまちづくりのそれぞれについて、めざす状態、現状、要因分析、課題を記載しております。

防災のまちづくりにつきましては、めざす状態として、区民が自助・共助の役割を認識し、日頃から災害への備えができている状態をあげております。

現状として、災害が起きたときの行動や避難する場所を知っている区民の割合、災害への備えを意識している区民の割合を掲載しておりますが、下の要因分析に記載しておりますとおり、コロナ禍で対面での啓発活動が減少したことから、災害への備えがやや低下しているところがございます。

そのため、課題欄に記載しておりますとおり、出前講座や防災訓練、イベント等により、対面の啓発活動に取り組む必要があると考えております。具体的には、次の4ページ中ほどの計画（取組内容）に記載しておりますけれども、出前講座、イベントでの啓発、各地域等での防災訓練などの支援に取り組めます。

主な事業内容を参考資料1の令和6年度予算事業一覧でも記載をしております。防災関係では、区全体での防災対策に加えまして、地域防災活動への支援などを予定しております。

資料2の3ページに戻っていただきまして、防犯のまちづくりですが、街頭における犯罪を防止し、犯罪に巻き込まれない安全で安心なまちをめざす状態としております。

現状として、重点犯罪5手口の区内発生件数と区内特殊詐欺の認知件数を掲載しております。重点犯罪5手口の件数は減少傾向ですが、特殊詐欺については、多種多様化、巧妙化により、認知件数が増加している状態です。

そのため、課題欄に記載しておりますとおり、警察や地域と連携し、防犯意識の向上や犯罪を起しにくい環境整備に取り組むとともに、特殊詐欺対策として、自動通話録音機の無償貸出しなどに取り組む必要があります。

令和6年度予算では、詳しくは資料2の5ページのところに記載しておりますけれども、その主な内容につきましては、先ほどご覧いただきました参考資料1、令和6年度予算事業一覧で抽出して記載しております。参考資料1の1ページのほうでは、防犯のまちづくりとして、青色防犯パトロールや防犯カメラの設置、地域防犯啓発などにより、防犯意識の向上や犯罪抑止に取り組んでまいります。

次に、安全で美しいまちづくりですが、資料2の3ページに記載しておりますとおり、区民の環境美化意識の向上、違法な客引き行為や放置自転車、路上喫煙、ポイ捨ての減少などによる美しいまちをめざすこととしております。

約4分の3の区民の方が、啓発等の取組が環境美化意識の向上につながっていると回答され、路上喫煙マナーについても、約半数が美しいまちづくりにつながっていると感じられておりますけれども、課題の欄に記載しておりますとおり、今後とも市民協働による啓発が必要で、活動参画を通じて、区民や来街者などの環境美化意識の向上が必要でございます。

参考資料1、令和6年度予算では、主な取組として、環境美化、路上喫煙対策に取り組むとともに、空き家対

策についても推進することとしております。

次に、経営課題2、人と人がつながり、助け合うまちづくりですが、資料2の7ページに、コミュニティ豊かなまちづくり、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり、安心して子育てできるまちづくりを掲げております。

コミュニティ豊かなまちづくりとしては、安全・安心なまちづくりに係る取組を含め、地域福祉や子育て支援、地域コミュニティづくりなどが地域特性に即して自律的に進められることをめざしております。

現状として、地域活動協議会を知っている区民の割合が約半数、地域活動への参加経験がある区民の割合も約6割となっておりますことから、課題の欄に記載しておりますとおり、若い世代、マンション住民の方をはじめ、人と人がつながる機会の提供が必要であり、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営の推進が必要です。

参考資料1、令和6年度予算では、主な取組として、地活協への補助金や中間支援組織による支援、区民祭りの開催や生涯学習推進事業として学校体育施設開放事業などを行うこととしております。

資料2の7ページ、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりですが、地域に身近な福祉相談窓口があり、また地域住民の相互見守りにより、安心して生活できること、また健康で生き生きと暮らせる状態をめざしております。

現状に示しておりますように、地域福祉コーディネーターによる相談・訪問件数は増加傾向にあり、今後ともより一層支援が必要とされることが見込まれます。

課題にも記載しておりますが、「気にかける・つながる・支えあう地域づくり」をめざしつつ、複雑化・多様化・深刻化する課題に対応するため、今後とも必要な支援をコーディネートする体制が必要です。

参考資料1、令和6年度予算事業に記載しておりますように、引き続き障がい者相談員や地域福祉コーディネーターによる相談支援体制を敷いてまいります。

資料2に戻っていただきまして、7ページの安心して子育てできるまちづくりですけれども、身近に子育て相談窓口があり、いつでも気兼ねなく相談できる状態をめざしております。

現状欄にありますように、子育て支援室の周知割合は約半数ですが、年間800件近くの相談がございます。

課題の欄に記載しておりますけれども、子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての不安感・負担感を軽減する必要があり、1ページの主な戦略にも記載しておりましたように、気軽に相談できるよう、対面での相談に加え、専用メールを活用した子育て支援を推進することとしております。

参考資料1、令和6年度予算事業の1ページ目、下から2ページ目にわたって記載しておりますように、地域子育て連絡員の配置や要支援妊婦、精神等障がい者への相談支援、助産師による育児体験教室や育児相談、臨床心理士やスクールソーシャルワーカーなどの専門員の配置などにより相談支援体制を整え、子育て支援を充実させるとともに、当該相談窓口についての周知を進めることとしております。

次に、資料2、11ページ、経営課題3、明日に誇れるまちづくりですが、魅力あるまちづくりと未来の都島を担う人材育成を掲げております。

魅力あるまちづくりにつきましては、毛馬桜之宮公園を中心としたにぎわいづくりや歴史・文化資源を生かした地域活性化を民間活力を生かして推進するとともに、区民参加による区の魅力創出、魅力発信を行い、区

への愛着を醸成していくことをめざしております。

現状の欄に掲載しておりますように、居住地域で魅力を感じる区民の割合は97%となっており、また大阪ふれあいの水辺（桜ノ宮ビーチ）の利用者数も、コロナ禍を経て持ち直してきたように思われますが、やはり、さらなる魅力向上が必要だと考えております。

対策として、課題の欄に記載しておりますように、区の新たな魅力の創出や興味を持ってもらえるような情報発信が必要と認識しております。

令和6年度の取組としましては、参考資料の2ページ中ほどに記載しておりますとおり、区の魅力発信事業として、桜ノ宮ビーチでのビーチフェスティバルや、区民参加で区の魅力を発信するためのマッピングアプリの活用などを予定しております。また、大阪・関西万博を契機に、京橋周辺でのインバウンド誘客のためのプロモーション、国が2025年を目途に整備を進めている淀川大堰開門工事に合わせて、淀川大川にぎわいづくりとして河川沿いでのイベント等、にぎわいづくりを進めます。

また、万博の機運醸成として、今年度は、先日3月7日にJR京橋駅と京阪電車間の駐輪場に横断幕を設置いたしました。万博直前となる令和6年度につきましては、さらに大々的な装飾などにより、万博の機運醸成を図っていきたくと考えております。

なお、淀川連絡線跡地の利活用につきましては、当該用地を今年度、プレサンスコーポレーションに売却いたしましたので、今後は区民広場の維持管理経費だけとなり、予算事業項目としてはなくなるということになります。

次に、資料11ページの未来の都島を担う人材育成ですが、子どもが明るく健やかに成長していく状態をめざしておりますけれども、コロナ禍もあってか、近年、将来の夢や目標を持っている小中学生の割合が減少しております。

そのため、課題の欄に記載しておりますように、学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要があるとございます。

令和6年度予算事業といたしましては、参考資料1の2ページ下に記載しておりますとおり、小学生サポート事業として、学習支援や悩み相談を行う居場所を委託により運営してまいります。

次に、資料2、14ページ、経営課題4、区役所力の強化でございます。

区民の声が区政に反映される仕組みづくりとして、区民の意見やニーズを的確に把握して施策・事業を展開すること、また区民に区政運営等の情報が届き、区政の関心が高まっている状態をめざしております。

現状、棒グラフにありますように、区民意見やニーズの把握については肯定的意見が約4割となっており、また区役所からの情報入手手段は、ほとんどが広報誌となっております。

要因分析、課題欄に記載しておりますけれども、区民意見やニーズについてはインターネットやご意見箱などで受け付けておりますけれども、表面化しにくい意見の把握や受けた意見、ニーズの施策への反映が課題となっております。また、広報誌だけでなく、対象者や発信する内容に応じて、区ホームページをはじめ、フェイスブックやX、LINE、その他ユーチューブ、インスタグラムなどを活用する必要があること、また行政情報や地域活動の情報などを区民目線で分かりやすく提供することが必要とございます。

令和6年度予算事業としましては、参考資料1、3ページ上に記載しておりますとおり、区民アンケートや区政

会議により区民意見やニーズの把握に努めるとともに、広報誌の発行や、予算計上はしていませんが、区のホームページやSNS発信によりまして、区の情報発信に努めてまいります。

次に、資料2の14ページ、区民が満足・納得できる区役所運営についてですが、来庁者への窓口サービスの向上や区役所業務の効率運営のための取組を進め、その取組が評価されていることを目標としております。

現状の欄に記載しておりますけれども、来庁者等に対するサービスの格付結果では、令和4年度、星2つに復帰いたしまして、資料作成時点では記載できておりませんが今年度につきましても星2つの評価をいただいたところです。

令和4年度から、外部講師により、実際の区民対応をチェックする実地研修や、若手職員を中心に構成するカイゼンチームの取組により庁内研修なども見直すなど、取組を進めてまいりました。課題欄に記載しておりますけれども、担当課によっては平均を下回る場所もあったことから、窓口対応のさらなる底上げが必要となっておりまして、

なお、運営方針の項目としてはあげておりませんが、令和6年度予算といたしましては、参考資料1、3ページ下に記載しておりますとおり、区役所1階、住民票の交付などを行う部署におきまして、手数料のキャッシュレス化や行政キオスク端末、これはコンビニにありますようなマルチコピー機のようなものですが、そういったものの設置を予定しております。ともに令和6年度末頃になろうかと思っておりますけれども、大阪市全体で市民の方々の利便性向上に取り組んでまいります。

また、予算合計額を参考資料1の最後に記載しておりますけれども、令和6年度は3億6,000万円あまりで、令和5年度の3億3,000万から約3,000万円増加しております。この間の人件費や物価の高騰などもあり、全体的に経費増となっているところ、広報戦略の見直しなどにより、既存事業の経費的な精査を行いつつ、新たな施策を検討した予算となっております。

長くなりましたが、議題(1) 令和6年度予算事業及び運営方針(案)につきましてご説明いたしました。この内容につきまして、ご意見、ご質問をお願いいたします。

【高野議長】

事務局よりご説明がありました。丁寧なご説明ありがとうございました。

今、説明のありました議題(1)の令和6年度予算事業及び運営方針(案)について、どんなことでも構いませんので、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。何かご意見、ご質問ございましたら、挙手をお願いします。ご質問のある方にはマイクをお回ししますので、まずご自身の肩書ですね、協議会の方とか、それからお名前をおっしゃってからお話しただけだと思います。インターネットで配信している関係で、お名前も頂戴します。

それでは、ご質問等ございましたらお願いいたします。

尾柳委員です。

【尾柳委員】

友渕の尾柳と申します。よろしく申し上げます。

1番の防災のまちづくりのところで少しご質問をさせていただきます。

友渕、去年度からかけまして、細谷課長以下、防災の方にお世話になりまして、4回、防災訓練を行いました。

友瀨は、ご存じのように高層住宅ばかりなので、皆さん、すごく意識的に防災というか、しないといけないのは分かっておられるんですけど、いざ訓練となると、なかなか、出てきていただけないんです。高いところにいるほうが安全やろ、わざわざ下に下りていくのはというお考えもあるかと思うんですけど、そういうところが少し、どうしていったらいいのかなと悩んでおります。

それから、防災の冊子を何年か前に作ったままでしたので、新たに少しお手伝いいただいて作り直させていただきました。ところが、それを全住民に配りたいと思うんですけども、お金がない。連合町会で配りたいんですけども、そうすると町会員様のみになってしまう。せっかく作っていただいたんですけど、あとはホームページで見てくださっておっしゃられたんですけど、パソコンやらスマホを見られる方ばかりだったらいんですが、なかなか高齢者はそうはいかないので、そういうようなところも少し改善を考えていただけたらありがたいと思っております。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

今のご質問や、そして改善策について、お答えいただけましたら、区役所、担当部署からお答えいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

では、細谷課長にお答えいただきます。お願いします。

【細谷課長】

防災地域活性担当課長、細谷です。よろしく申し上げます。

まず、1つ目の高層住宅にお住みになっていらっしゃる方が、なかなか訓練などに出てきてくださらないというようなお悩みを持っておられるということについて、確かに、最近の大阪市の避難所の関係とか避難の関係ですと、自宅避難を推進しているので、何が何でも避難所へ下りてこいというようなことではないので、一部、その方々は確かに間違っていないのかなとは思いますが、ただ、やっぱりコミュニティーの関係もありますので、我々としては、なるべくそういう訓練なんかは参加していただけるような取組も啓発はしていかないといけないなと考えております。

あらゆる手段をもって、ホームページであるとかSNSであるとかを使って、参加してくださいという呼びかけは引き続きやっていきたいと考えております。

それと、我々、出前講座ということで、マンションの理事会の防災の役員さんのところなんかに出向いて行って勉強会もさせていただいておりますので、町会に入っていないマンションの方々については、そういったことをどんどん活用していただけるよう、啓発・宣伝していきたいと思っております。そういうことでよろしく願いいたします。

次に、地区防災計画、今回、リニューアルしていただきまして、我々も一緒になってつくらせていただきました。それについて、全戸に配付したいということでございます。ただ、これも、ご存じのとおり、大阪市の予算もありますので、なかなか全戸配付ということは、各地域の地区防災計画の全戸配付というのもなかなか難しいかと思っております。

ちなみに、西都島さんは刷って配らったんですね。すごい金額になったとは思いますが、ただ、

西都島さんは、まだ戸建ての家も多くて、町会の加入率も友渕のように巨大なマンションごと入ってらっしゃらないというような地域とはまたちょっと違うと思うんです。ホームページを見てくださいますかと言っているんですけども、確かにそういったこともなかなか難しいかと思えます。印刷費もなかなか難しいかなどの考えもあります。何か一緒に考えていけたらええなと思えますので、またお知恵貸してください。よろしくお願いします。

【高野議長】

ありがとうございました。

続いてですけども、今、防災についてのご質問とお答えがあったんですけども、お住まいの協議会やお住まいの地域でこのような取組や啓発をしているというようなアイデアとかでも構いませんし、また変わって違うご質問でも構いません。いかがでしょうか。

では、多田委員、お願いします。

【多田委員】

すみません、東都島の多田と申します。

私も、10年ちょっと前に、初めて区のほうで防災訓練をせなあかんという話があったときからやっているんです。そのときに、学校で防災訓練するときに各役割分担をつくったんです。そのときはそれで終わったんですけども、ほんでまた何年かしてから、次、また訓練するからいうて、また新たに新しいメンバーを構成して入れていったわけなんです。年をとって交代する人もいますが、我々まだ残って、いろんな役職を持っているんですが、そういうメンバー構成をしたのに、その方をなかなか使えないというのが何かしんどいんです。とにかく地域のこと、いろんなことやっていましたら、どうしても若い人が出てきにくくなってきているんですね。

今、防災リーダーやら災害救助部長さんらが出てもらってやっているんですけども、とにかく一回名簿でつくった人はそれで、一回ぽっきりで終わってしまうという、その辺をちょっとお聞きしたいんです。お願いいたします。

【細谷課長】

防災地域活性担当課長、細谷です。

多田委員のご質問なんですが、一つは、東都島地区もこのコロナの前までは活発に避難所運営訓練をなさっていて、多分毎年やってはったと思います。ワークショップを3回、4回やって本番に入っていくというような形で、本部の役員も決めて、避難所運営委員会の委員も決めてというような訓練をずっとやってこられていました。そのときの話を多田さんがおっしゃっていると思うんです。メンバーもどんどん、町会の役員も替わっていきます。できれば、これからも避難所運営訓練を実施していただければ、その辺の役割分担とか役割なんかも体で覚えていただけるかなと思えますので、引き続き、我々も支援しますので、実施してもらいたいと思います。

それと、役員さん、いろんな役割あるんですけども、防災の役員さんは、その核となる方であって、その方が走りまくるわけではなく、その方々が、こういう役割の人はこういう仕事をするんだよと、こういう役員はこういう役割をするんだよということさえ体に焼き付けておいていただきたい。本当に避難してこられた方を指導するというか指示し使って、避難してきてはる人を上手に使えるというのが本来の避難所運営訓練ですよ。

で、そういったことを引き続き、東都島のほうでも訓練していただければ、我々も精いっぱい支援させていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

【多田委員】

はい、よろしくお願いいたします。

【花田委員】

すみませんが、よろしいですか。

【高野議長】

では、花田委員、マイクをお返ししますので、お待ちください。

【花田委員】

公募委員の花田です。

先ほど、課長からもコロナの影響というようなお話がありましたけれども、これは防災だけではなくて、地域コミュニティー全般の話といたしまして、本年度5月から活動が自由に再開して、結構活動自体は戻ってきているというお話を都島区でも他区でも聞いてございます。

ただ、一方で、コロナの影響で、いろいろな催しとかその活動が止まって、対面のものが止まってしまったがために、何か4年間のブランクができて、その間に主な担い手としてやってくださっていた方が少し年齢がいかれたりとかいうような中で、非常に今、地元が心細くなっているというお話を他区でも聞いております。

特に、今のお話、防災のお話もあれば、通常の地域コミュニティーのご活動のお話もあろうかと思うんですけども、都島区として、来年度から、もう本当にフルで駆け抜けるような、また事業展開を期待されているところだと思うんですけども、どのような工夫をもって担い手の若返りといいますか、参加を促していくような、行政としてのサポートを考えていらっしゃるのかということをお聞きしたいのと、それが具体的に来年度の事業にどう表れてくるのかということをご教示いただきたいと思っております。

【高野議長】

松井課長にマイクをお返ししますので、お待ちください。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にてご説明をさせていただきます。

今、花田委員からご質問ございました。

まず、コロナの影響でということで、確かに今年の5月から解除された以降は、徐々に地域活動も活発になってきているというのは事実でございます。実際にそれ以前も、コロナ禍であったときも、その地域で皆様活動していただいている方につきましては、やっぱり地域活動を止めてはいけないという思いを持っておられる地域もたくさんおられて、全てが全て、今までやっていたことをできるわけではないんですが、感染対策をしっかりと取りながら、例えば高齢者の食事サービスなんかは、今までは皆さんが一堂に会してご飯を食べていたりということ、それはもうコロナの関係でできないということで、最初はつい立てでやり始めて、やっぱりそれもできないなということになったときに、配食に切り替えて活動を継続されてきたというふうな経過があったりしたところでございます。

それ以降も、徐々に解除がされていくにつれて、いろんな形で、できるものから徐々にやっていくということで、現時点では再開はされつつあるんです。今おっしゃっていただいたように、地域の役員の方も、4年間、ずっと同じ役員の方である地域と、例えば2年交代、3年交代で替わっていく地域もやはりございまして、そうになると、コロナのブランクの期間のときに何もやっていない、引継ぎも受けていないという方々が、いざ再開をするというときに、例えば祭り一つにとっても、どう運営していったらいいのかということ、かなりご苦労されながら再開を始めているということは私のほうもお伺いはしておるところでございます。

あと、その担い手の問題というところにつきましては、これはもう、うちの区だけではなくて、大阪市全体の課題にはなるんです。やはりこの地域活動を継続あるいは発展させていこうとするに当たっては、どうしてもその担い手という方々のお力がないとそれは成り立たないということで、その方々も徐々に高齢化をしていっている中で、入れ替わりといいますか交代というか、うまくそういう引継ぎができていくようになればいいんですが、なかなか、やはり昔と今やっていただいている方とは時代がもう異なってきていて、すぐにはスムーズに入替えが難しいというのも現状になってきている実態であるとお伺いしております。

そうした中で、そのつながりというのが、一つには、今、お話もありました防災なんかを基に、いろんな形でつながっていくような取組もされている地域もございまして、それ以外には、祭りで、子育て世帯のいろんな方々を祭りに来ていただいて、そこでつながりを拡充していこうと取組をしておられる地域もございまして。

一方で、その若手の方々を、いかにその地域に参加していただくことを、どうしていったらいいのかということ、真剣に考えている地域もございまして、若手委員会というものを独自につくられて、そこで、いかに若い方々、働かれています方々、子育て世帯の方々なんかを地域の活動に参加していただくには、どういうことをしたら参加していただけるのかなということを皆さんでご議論をスタートしていただいている地域もあるようなこととお聞きしております。

そうした中で、我々区役所としまして、地域活動補助金という形で財政的な面は支援しているところもございまして、また加えまして、区役所から委託しているまちづくりセンターという中間支援組織を抱えているところもございまして、そのまちづくりセンターが各地域の支援に入りまして、皆様方のそれぞれのお声を一番近いところでお聞きして、その上で我々区役所の職員も一体となって、全てが全て聞いてきたことを実現できるわけではないですが、まずはその実現できることからしっかり対応していけるような形で6年度についてもやっていきたいと考えているところもございまして。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

ほかにご質問は。

では、後藤委員からご質問、ご意見等があります。お待ちください。

【後藤委員】

すみません、桜宮の後藤です。

さっきから防災のお話があるんですけど、ちょっと予算のことで、防災のところに地域防災活動への支援ってありますよね。実際、でも防災、桜宮でやっているのは地活の補助金からやっているんですよ。これ、また

別で予算を取っていただいている、いただけるとかということなんですか。

それと、路上喫煙対策事業、路上喫煙って罰金とかありますよね。あの罰金は、区役所に入ってくるんですか。すみません、教えてください。

【細谷課長】

まず、地域支援の予算なんですけども、具体的に直接、地域のまち協、地活協に入るといようなものではございません。地域を支援するために、我々が、例えば防災リーダーのためのグッズを買うとか、大まかに言うとそういうものを買うための予算だと考えてください。

それから、もう一つの喫煙の罰金については、直接は区役所のほうには入ってきません。よろしくお願ひします。

【後藤委員】

あともう一つ、すみません。あと、私が思っていることなんですけど、防災の件なんですけど、実際、桜宮とかで防災リーダーとかをしている方って、結構高齢なんです。多分、ほかの地域もそうだと思うんですけども。防災って、結局何かあったときに皆さんの長とかトップに立って仕切っているいろんなことをするということになるじゃないですか。となると、あまり高齢の方が防災リーダーをしていると、実際その避難所に逃げてこれるのかとか、そういうのもすごい思うんですよ。

だから、防災リーダーに関しては、何かしらこう定年とか、そういうのを設けたらどうかなというのと、東都島さんと多分桜宮で、桜宮中学校で中学生を対象と一緒に防災訓練とかしているんですね。だから、中学生とか高校生とか、動けるような若い子を一緒に防災訓練とかで、学校でやって巻き込むというか、子どもたちにこの防災という意識を高めたらいんじゃないかと思います。

【細谷課長】

防災地域活性担当課長、細谷です。

防災リーダーの定年制は、ちょっと難しいかと思います。若い方にももちろん入ってきていただけたらありがたいんですけども、ご高齢とか、シルバーエイジの方々も、まだまだ知恵の部分で頑張っていただけたらと思いますので、その辺、頑張っていただきたい。パワーのほうは若手のほうで頑張っていただけたらと思っています。

ちなみに、今年度、中野は、今まで町会長と女性部長がみたいな決まりをちょっと変えて、中で公募をしてみようかなとおっしゃっていますので、ちょっと違う方が出てきはるのかなという期待もしています。

それと、もう一個、中学校ですね。うちの区、割と防災学習ということで、桜宮中学校が、おっしゃるとおり、東都島と桜宮と合同で、中学校へ行って、一緒に訓練とか学習会を開催しました。東都島も、同じように小学校で大々的に、防災リーダーがたくさんいっぱい来てくれはって防災授業やりました。淀川中学校でも毎年9月の1日ですか、関東大震災の日ぐらいに合わせて中学校で、全校で大きな防災学習会をしてはります。友渕も、以前、コロナ前は友小でやってはりますし、都中、都小も大体毎年やってもらってますし、もちろん中野小学校も防災学習をしていただいています。そういう意味でいうと、割と学生さんにはそういう意識は、ちょっとだけ持ってくれてはるのかなと思っています。

おっしゃるとおり、若手のそういうパワーも必要ですので、中学生、高校生の方々、特にそういうふうに地

域のほうに目を向けていただけたらと思っていますので、区役所でも、コロナ、コロナと言うていたら言い訳ばかりになりますので、来年度については、その辺のところ、防災学習、力を入れていって、若手のほう発掘をしていきたいと考えております。よろしくをお願いします。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、藪上委員からご質問、またご意見等があります。お待ちください。

【藪上委員】

すみません、大東地域の藪上です。

ちょっと3点、ご質問をさせていただきたいと思っております、ちょっと全部転々としているんですけども、まず経営課題1のところと、あとは経営課題2でもあるんですかね。まず、経営課題1ですね。

経営課題1の中の安全で美しいまちづくりということで、環境美化を意識しましょうというような話がここに書かれているんですけども、先日、多分これ、まちセンのLINEだったと思うんですけども、これは、すみません、ちょっと予算に絡むというお話じゃないかもしれないですが、JRの桜ノ宮駅の駅前に、たしか地元の高校生かなんかが、中学生だったか高校生かなんかが描いた、壁にイラストを描いている壁画みたいなものがあるんですけども、あれが誰か、何者かによって、その上からスプレーでばーっと落書きをされていた。プレーで落書きしてしまうと、もうその上から消せないんですね。消そうと思うと、せっかく高校生が書いた壁画も消えてしまうので、どうしようかという、ちょっとこんな何とかならないのというような意見があったんです。私が住んでいる大東地域でも、城北公園通の駅前に桜宮高校の学生さんが描いた絵があるんですね。

なので、そう考えると、うちの地域でも人ごとではないなという気がしまして、もう起きてしまったものは仕方ないんですけども、やっぱりそういったものに対して、例えば上からスプレーとかを吹っても、そのスプレーを取っても壁画が消えないようなとか、ちょっとそれは無理な意見かもしれないんですけども、そういったちょっと、やはり安全で美しいまちづくりという中で、地元の方が環境美化というところを意識して、地元の環境美化に貢献しましょうという形で、描いていただいたものだと思うので、非常にちょっといたたまれないなというところがありますので、こういったところにもしっかりと区として取り組んで、ほしいなというところと、実際にこのようなことが起きたときに、やはりどのような対策を考えられているかということをお伺いしたいなというところが一つになります。これが1点目になります、すみません。

2点目が、先日の区政会議が終わった後に、ちょっと地域の方とお話をして、何かないですかって話をさせていただいたときに、これ経営課題の2でもあるんですけども、安心して子育てできるまちづくりというところであったりとかコミュニティ豊かなまちづくりというところに通じるころだと思ってしまうんですけども、子どもがボール遊びをするところがちょっと少ないのではないかという意見が結構ありました。

実際、やはり公園でも、地元の小学校が、ここではボール遊びしないようにしてくださいとかというような注意喚起をしたりとか、恐らくそのボール遊びをしちゃいけないというのが、多分周りの住民の方から学校にクレームが入ってというようなことだとは思ってしまうんですけども、結構公園でも遠慮して遊ばなきゃいけないということが多いのかなというイメージがあります。遊具も、例えばもう老朽化して、もう古くなって撤去したりとかという公園も結構見られたりとか、もうこの遊具は遊ばないでねという貼り紙がしてあったりとか、そ

のようなことがいろんな公園で見受けられるなどは思っているんです。子どもたちが安心して遊べるような取組というところを今年度どのように考えていらっしゃるのかというところをお伺いしたいのと、このボール遊びというところも、どうにかならないですかね。

例えば、この公園ではボール遊びしていいよで、例えばそのエリアを造ってあげるとか、そういったところをちょっとこうしていただけるとありがたいなという、ちょっと陳情も含めたご意見とさせていただきたいと思います。

すみません、2点でお願いいたします。

【高野議長】

それでは、三井課長にマイクをお渡ししています。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。失礼して座らせていただきます。

今、2点いただきましたうちの1点目、JR桜ノ宮駅の下は専門学校の方に桜の絵を描いていただいたところですし、あと、そういった壁面アートにつきましては、京橋だったり城北公園通駅のところもあるんですけども、確かに落書きをされていることがほかにもありまして、それが描かれないようにするという対策のほうは結局できてはいるんですが、ほかのところも、落書きを見つければ、それを少し薄くするということが対策として取ってございましたので、桜ノ宮駅のほうも、下のアートのほうには影響のない範囲で薄くするような、そういった対策をしたいと思います。

確かに、おっしゃいますとおり、せっかく、もともと落書きがあったところをきれいにして、まちの雰囲気をよくしようとしていますのに、その上に落書きされますと台なしになってしまいますので、なかなか技術的に上から描かれないという防止策というのは難しいかと思うんですけども、対策としてはそういった、見つけましたら専用の液で支障のない範囲で消すというふうな取組を、対策をしていきたいと思ってございます。

以上でございます。

【高野議長】

続いて、松井課長もご発言いただけるんですか。はい、すみません。では、マイクをお渡しします。

【松井課長】

まちづくり推進課長の松井です。

今、お話しいただいています公園で、かなり制約が多いというのは確かに事実であるという認識はしているところでございますけれども、やはり公園に来られる方というのは、子どもたちもそうですけど、多種多様な方々が自由に過ごせる場所でもありますので、どうしてもやっぱりそこで何かをするということに対して、全てが、全部何でもオッケーということには多分ならないんだろうなとは思っています。ただ、そういうことがしたいというご意見があるところについて、場所を確保していくということができないのかという、そういった議論は出てこようかなとは思っていますので、その公園を管轄しています関係部署のほうに今日いただきましたご意見のほうはお伝えをさせていただくことで預らせていただけたらなと思います。

もう一つ、遊具の関係で、古くて使えないということもあるんですけど、やはりこちらのほうも安全という観点で、恐らくそれを放置しておいて、けがをすると、結果的に事故にもつながるので、そういった対策でそ

れは使えないようになってきているんだろうなどは、推測ですけれども思います。

それを、いつ、どうされるのかとかというふうなことが、もしお気になられるようなことがありましたら、それを直接また言っていただきましたら、そのもの今後の取扱いというのは、その関係部署に問い合わせ確認することはできるかと思しますので、そういった点でご理解をいただけたらと思います。よろしくお願ひします。

【花田委員】

ちょっと、その件でよろしいでしょうか。

【高野議長】

はい、マイクお渡しします。

【花田委員】

今、おっしゃった公園の件なんですけれども、実は私、旭区で区長と副区長をやっておりました。副区長やっていた時代だったかと思うんですけれども、実際に公園を所管するのは建設局の公園部門なんですけれども、区長には区シティ・マネージャーとして建設局長を指揮命令する、そういう権限がございますので、その権限を使って、旭区の場合は当時4か所の公園において、それはもちろん地域の方のご了解とかご理解、どちらかという地域の方からのご意向があつてというところなんですけれども、場所を選定して、広さであるとかスペースの取り方であるとか動線の取り方であるとかというところを設定した上で、この場所で、こういう例えば仕切りをしたら危険ではないだろうというところで、ボール遊びができる公園というのを4つ造った記憶がございます。

遊具の件につきましても、非常に低いうんていしかなかったところを、やはり運動能力とかの関係もあつて、それを少し高めうんていに変えろとか、そういうことについても、地域の方、学校、そして所管の建設局と、区が間に入ってやり取りをして実現したというところが、もうかれこれ10年近く前になりますけれども、ありますので、またちょっと旭区に聞いていただいて、建設局とご調整いただけたらなど。もちろん地域のやっばり思いが一番大事だと思いますので、よろしくお願ひします。

【高野議長】

今、アイデアいただきましたので、またご意見、お願ひ等、預かっていただきたいと。

引き続き、藪上委員に。

【藪上委員】

多分、今のやつであれですね、高殿とかも、高殿の結構広いグラウンドとかあると思うんですけど。

【花田委員】

高殿のグラウンドは、その対象ではなかったと思います。新森だったりとか、そうですね、太子橋とか。

【藪上委員】

新森もありますね、太子橋も、はい。

【花田委員】

あの辺だったと思います。

【藪上委員】

大東地域なので、結構旭区と隣接しているので、結構旭区の公園にも行ったりするんですけど、やっぱりそういう環境が多いのはお隣の区なのかなとは思っているんですけども、都島区も決して公園が少ない地域ではないと思います。広い、何かグラウンドみたいに広いエリアをくくってくれというわけではなくて、あくまでもやはり住民からご不満であったりとか、そういったところが出ないような環境というところの範囲でそういった整備というのをしていただけるとなというところがあると思います。

遊具の話をしていただいたのも、これちょっとリンクしているかなと思っていまして、やはり遊具が少ないと、子どもたちはどうしてもボール遊びに行ってしまう。例えば、そうなると、小学生がボールで遊んでいると、やっぱり危ないからやめなさいってなって、今度それが、小さい子も、もう小学生以下の子とか小さい子も、例えば柔らかいボールで遊ぶのも駄目になってしまうので、なかなか負の連鎖かなと思っておりますので、ちょっとここは本当に改善をしていただけたらと思っております。よろしく申し上げます。すみません。

【高野議長】

ありがとうございました。

ちょっと時間が大分、活発なご質問、ご意見等があったので、かなり時間が大分たっていますので、一旦ちょっと質問、ご意見等、切らせていただきたいと思います。申し訳ありません。

最後に、どうしてもこれだけは聞きたかったということでありましたら、最後に時間をつくりたいと思います。そのときに、今の問題についても、どのようなご意見、ご質問でもいただきたいと思います。

では、次の議題に移ります。

議題（2）「都島区まちづくりビジョン」の策定について、事務局、三井課長からご説明お願いいたします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井です。失礼して座らせていただきます。

議題（2）「都島区まちづくりビジョン」の策定についてご説明させていただきます。

資料3をご覧くださいんですけども、まず目的を記載しておりますけれども、目標年次を2040年とする中長期的なビジョンというものを検討してございます。

内容につきましても、ハード整備を含む区の将来像を示すものとして策定しまして、それにより、戦略的にぎわいの創出などの施策・事業を展開することにより、「誰もが生き生きと働き暮らせる」まちづくりをめざすものでございます。

概要欄に記載しておりますが、昨今のDX化の進展、都市の公共空間の再生整備などの環境の変化がございますので、都島区としまして、まちのあり方を捉え直す必要があると考えてございます。

中長期的な視点でまちの課題を明らかにし、目標とする将来像を定め、その実現に向けた施策・事業を戦略的に展開していくもので、ビジョン策定にあたりましては、人流データ、各種ビッグデータ等のデータ分析によりまして、都島区の過去、現在や課題を見える化するとともに、都島区の魅力を体験・思いを共有できるアプリを活用しまして、そのデータを蓄積してビジョン策定の基礎データといたします。

それらの情報を基に、将来の都島区のシミュレーションモデルを作成し、ぎわいの創出、回遊性の向上等を図るための方向性や将来像をビジョンとして提案するものでございます。

次に、スケジュールですが、今年度は本日の区政会議で、まちづくりビジョン策定の方針を公表していると

いうところですが、これまで市役所内のICT部門などの関係部署との調整を始めたところでございます。また、アプリの活用につきましては、3月23日開催のみやこじまりバーフェスにて試行実施する予定でございます。

令和6年度は、関係部署との調整や関連事業の本格実施を始めるとともに、パネルディスカッションやワークショップを開催し、区民参加による意見集約を図っていきたいと考えております。

令和7年度には、ビジョンを策定するとともに、タウンミーティングやパブリックコメントなどを通じてご意見をいただき、その内容を踏まえた上で、都島区まちづくりビジョンとして完成させたいと考えております。

ビジョン策定後、ビジョンの内容を踏まえ、シンポジウムを開催し、ビジョン内容のさらなる周知を図るとともに、ビジョンに関連したご意見をいただいたり、関連事業などを推進する契機としたいと考えております。

ビジョン策定後は、関連事業を実施するとともに、進捗管理を行いまして、適宜見直しを行う方針です。

都島区まちづくりビジョンの概略については、簡単ですが、説明は以上でございます。ご意見、ご質問がございましたらお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

【岡本委員】

よろしいですか。

【高野議長】

では、岡本委員からご質問、ご意見等がございます。

【岡本委員】

コムズガーデンが大きく変わるという話を、聞いてるんですけど、これ区役所は関係あるんでしょうか。

【高野議長】

もう一度お願いします。

【岡本委員】

コムズガーデンが大きく変わるという話は区役所さん、関係あるんでしょうか。

【三井課長】

コムズガーデンは、上が京橋公園という公園部分で、地下部分が大阪地下街さんが経営されるコムズガーデンとなっています。万博より前に、来年度に一定リニューアルをすると聞いてございます。区は、直接その事業に関わっているわけではないですが、区もその情報を聞いて、よりよいものにしていきたいと思っております。

【岡本委員】

はい、分かりました。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、花田委員にマイクをお返しします。

【花田委員】

すみません、そうしましたら、質問が一つとご意見が一つということでお願いをいたします。

質問なんですけれども、目的の冒頭に書いてくださっていますハード整備を含む区の将来像というふうにあるんですけれども、このハード整備のイメージ、どの範囲であるとか、どういうものであるとかというのがおありでしたら教えていただきたいのが1点と、もう一つは、せっかくスケジュールの中で市民協働、区民協働であったりとかという手続を入れてくださっているのです、その概要のところになるのかどこかに、策定に当たっては市民協働とか官民連携の手法とか、そういうもので進めていきますよということを明確にされてはどうかという、これは意見です。

以上、よろしく申し上げます。

【高野議長】

では、三井課長、お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

1点目、ハード整備のイメージにつきましては、はっきりと私が現時点でイメージし切れているわけではないんですけれども、一般的に区の取組、将来ビジョンですと、大体ソフト施策だけですので、例えばこの地域ではこういったポテンシャルがある、それであればこういう商業施設が有益であるとか、川沿いであれば川沿いの魅力を生かした、例えばサテライトオフィスとか、そういった民間の需要を喚起するような、その地域、場所場所が持っていますポテンシャルを生かすような施設整備が理想的だと、効果があるというような分析が出ましたら、そういった民間活力を生かした、例えばカフェだったりとか、サテライトオフィスだったり、商業施設だったり、そういったことを区が呼び込むような形でアピールしていきたいというところでございます。

あと、おっしゃいました官民連携でというのは、しっかりとこの取組の検討にあたって、いろんな事業者の方が都島区内にもいらっしゃいますので、意見をいただいたり取組にご協力いただいたり、したいと思っておりますので、しっかり表現していきたいと思っております。ありがとうございます。

【花田委員】

市民協働もお願いします。

【三井課長】

はい、ありがとうございます。

【高野議長】

ほかにごございますか。

それでは、西都島の山野委員のご質問、ご意見です。

【山野委員】

西都島の山野です。よろしく申し上げます。

まちづくりビジョンというところで、人流データ、各種ビッグデータ等の精査・分析を行っていくということなんですけれども、その対象として、今、住まれている方だけを対象にするのか、例えば都島区を訪れる方として、例えば今回の予算の中にもありますような外国人訪問者も対象とするのかということを知りたいのと、外国人訪問者向けのホスピタリティ・アクションということで、ちょっと予算のほうに話戻ってしまいますけれども、

参考資料の1のほうで今回予算が組まれていますけども、都島区として、どういうイメージでまちづくりに貢献していこうと考えられているのかというのを教えていただければと思います。

【高野議長】

では、三井課長にマイクを渡しています。お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

まず、データ等につきましては、区内の人流という意味でいいますと、もちろん住民の方だけではなくて、他地域から来られる方、もちろんインバウンドの方も含めて、どこからどういった方がどのような場所に来て、どのような活動、例えば仕事で来られているのか、食事をされているのかとか、それは滞在場所とか時間によって一定分析できると聞いているんです。そういった分析を基にして、人の流れのデータから、この地域のポテンシャルとか、そういったものを分析して施策のほうは見いだしていきたいと考えているところでございます。

インバウンド施策の関係ですね。インバウンドの誘致につきましても、以前、もう大分前になりますが、Stay in Kyobashiという取組をしていたこともあるんです。京橋は交通機関が多くて、交通結節点として活用もされやすいと思っているんですけども、そこにキタやミナミとかほどはインバウンドの方も来られていないんです。海外の方から見ますと、大阪で魅力的なスポットのナンバーワンが大阪城となっています。大阪城は非常に近うございますし、そこに来られた方が京橋のほうにも回遊できないかとか、そういったところを考えていきたいと思っております。万博で、海外の方も日本に一定注目をされているような機会と思いますので、その機会を捉えて誘致していく、令和6年度にPRして、令和7年度は来られた方が回遊しやすいよう近隣の、例えばホテルや商業施設とも連携して取組を進めていきたいと考えているところでございます。

【高野議長】

ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問等ございましたら、この場でお願いします。

では、一旦ここで切りたいと思うんですけども、まだお時間があります。これが2回目の開催になります。今日、藪上委員からも、前回の初めての会合でいろんな意見が交わされて質問があったということで、地域の大東協議会や、そして集まりの中でいただいた質問等を今日持ってきていただいたりというようなご意見がありました。

ですので、また皆さんの地域でも、こんな今日は発言があった、質問があったというところを、皆さんの所属されている地域や、あるいは集まりでのご意見、質問等をまた持って帰って、第3回のこの会合に持ってきていただければと思います。

それでは、2回目の会合で積極的に質問もいただいたんですけども、2回この会合に参加されて、どんな会合だという感触を持ったかとか感想などいただければと思います。すみません、指名で失礼いたします、中野地域の西委員、いかがでしょうか。ご感想等お願いします。

【西委員】

中野地域の西です。

前回、初めて参加したときに、自分の知らないこと、住んでいても分からないこととか、いろんな話が聞けて、すごく刺激を受けました。

今回も、いろいろと防災とか、日常生活の中では何げなく見過ごしてしまっている部分とかに改めて着目することで、先ほどの防災リーダーも、実は次、やるんですよ。

【細谷課長】

ありがとうございます。

【西委員】

やるんですけど、実際どんな感じなのか、まだつかめていない状態です。自分も徐々に徐々に、地域に入っている段階なので、こうした話を聞けて、これをまた地域に持ち帰っていろいろと、自分が知識を得た上で話をしたりとかすると変わるんだなというのをすごく、この代表で出させてもらってなんなんですけど、まだ今勉強中という感じで、すごくいい機会を得させてもらったなと思っています。ありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございます。指名して申し訳ありません。ぜひ持って帰っていただいて、またお役立ていただければと思います。

では続いて、高倉地域の浦出委員にもご感想、また質問でも構いませんが、よろしくをお願いします。マイクお渡ししますので、お待ちください。

【浦出委員】

高倉の浦出です。よろしくお願いします。

先日から来させていただいて、ちょっと感じていたのが、とても何かこう、上の方のお話をされているような感じがします。すごく庶民、一般の私からすると、何かちょっとこう、雲の上の存在のお話をされているような感じに聞こえてしまっていて、どこまで入り込んでいいのかなともうちょっとこう庶民、一般的に分かりやすくお話ししていただければありがたいかなとちょっと思いました。先ほどのお話を聞かせてもらっていたときに、このまちづくりビジョンのこととかも、これはどの方々がどのように、専門家さんとかを集めて、こういうふうにして、このまちづくりビジョンを考えていくんだよとかいうことも思われているのか、どういうふうな形で、この区役所が中心で、区役所さんが決めていかれるのか。例えば建物を造るのだったら建物の専門家の方が来られるのかとか、いろいろ一つ一つ、どういうふうにされていくのかなとか、そういうこともずっと考えながら、私がついていけないのかなと思いました。何かちょっと申し訳ないなと思いながら聞かせてもらっていました。よろしいでしょうか、こんなんです。

【高野議長】

ありがとうございます。

今の質問や、また分かりやすく文章を提示していただきたいというお願いであるとか、これまで取り組まれていることとか、お答えいただける部署がございましたらお願いします。

では、三井課長にお答えいただきます。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

すみません、予算についても細かくでしたし、ビジョンの関係も、今おっしゃいましたように、まだ、今、概略しかなくて、具体的なところをこれから検討というところですので、具体なくて特に分かりにくかったかなと思います。今おっしゃったように、まちづくりのビジョンですので、まちづくりの専門の例えば大学の先生に入っていたりとか、あと、その地域で、都島区内は電車も多く走っていますし、あとNTTとか大きな企業もあつたりしますので、そういった区内にある企業の人にもご意見をいただいたり、地域の住民の方にもご意見いただいて、いろんな方にご意見をいただいて、みんなで考えていけるような、そんな進め方で考えていきたいと思っております。

これからの、ご指摘いただきましたように、資料もそうですし説明のほうも、分かりやすいような説明を心がけたいと思いますので、またよろしく願いいたします。ありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございます。

本当に、区役所側の方々の肩を持つわけじゃないんですけど、これでも随分省略化されていて、前、1時間ぐらいかかって説明されていたのを、インターネットで見たことがあるんです。随分コンパクトにされて、文書の量も減らされて、分かりやすくというのはかなり改善されているんですが、やっぱりこの形式というのがあって。私も仕事柄、たくさんいろんな市や市町村の中長期運営方針みたいなものを読んだりしたことがあるんですけど、非常に分かりにくくて難解で、何かそれがそのスタイルなのかなと思いました。そういう中でも分かりやすくされていたりする自治体も増えていて、区政会議においては、かなり資料等はコンパクトに読みやすくなっているのかなと思います。これからも、そういうご意見があるので、さらに分かりやすく、コンパクトにさせていただきたい。部会等だともっと絞った、話合いの場になります。これから部会等もあるので、そこで積極的に、陳情でもいいですし、また質問や、それからご意見でも、それがまた聞いていただいて反映されることが多くあります。まちづくり部会はたくさんの方が参加されると聞いていますので、それでまたたくさんご発言いただき、また地域に持ち帰っていただけたらいいかなと思いましたので、引き続きよろしく願いします。

では、お隣の谷副議長、お願いします。マイクお返しします。

【谷副議長】

淀川の谷です。よろしく願いします。

私は2期目なんですけども、やっぱりいまだによく理解できていないところがたくさんあります。でも、部会に分けられたときに、自分が担当する部会は子育てだったんですけども、やっぱりいろんな方の意見、自分の地域ではこういうことをしていますよとか他地域のほうがこういうことをしていますよと言ったこと、意見を聞いたときに、ああ、これはうちの地域に持って帰ったらどう感じるんだろうということも気づきがたくさんありました。多分この区政会議とか部会ではあると思うので、ちょっと分かりにくいのも多々あると思うんですが、何回かこうやっていくうちに、いろんな地域の方と意見交わしたりしたら、ああ、こんなことを思っていたんだとか、若いPTAの方とかのこういうことをしてほしかったんだというのも聞き入れることが、意見をたくさん聞き入れることができると思うので、頑張っただけでやっつけていこうと思っていますので、皆さん、よろしく願いします。

【高野議長】

ありがとうございます。

では、続いてマイクお渡しします。こちら側のエリアにいきますね。

下影委員、今日も出席いただいておりますが、ご意見、また感想等お願いいたします。

【下影委員】

内代町の下影です。

2回参加させていただいて、私は一般公募でこちらに来させていただいているんですけども、皆さん、主にその地域活動協議会の皆さんとかは、いかに地域の活動に住民を十分、住んでいる方々をいかに巻き込むのにすごくご苦労されているんだなというのを、この話合いを通じてすごく感じます。

一つだけ、ちょっとお聞きしたいこともあるんですけども、多分、今の運営方針とかもそうですけども、何か通常は、その先の話をする前に手前の総括をする場合が多いような気がするんですけども、今のこの6年度とかの予算とか、これから地域の未来づくり、まちづくりのビジョンをつくる上で、今の現状はどうだ、どういうふうに感じておられるのかなという、実際の活動されている方、区役所の皆さんというのはどう感じられているのかなというのをお聞きしたいかなと思いました。

以上です。

【高野議長】

それでは、三井課長にマイクをお返ししています。お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。ありがとうございます。

確かに、今回、令和6年度とか、まちづくりビジョンとか、先の話だけになってしまっているんですけども、ちょうど4月から3月が1年度でありまして、その取組を振り返るのが大体いつも6月の区政会議です。前の年度1年間、どういう取組をして、どういう成果だったと、どういったところが不十分だったというふうなところをご説明して、ご意見をいただく場としております。

予算の関係は、最初、区長が申しましたように、議会で、市会で議論いただいているところではあるんですけども、このタイミングで来年度、次の予定のほうを説明させていただきまして、また次の6月のときに令和5年度の取組についてご説明して、ご意見いただければと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

【高野議長】

それでは、最後になりますが、菱池委員、お願いします。マイクをお返ししますので、お願いします。

【菱池委員】

福祉コーディネーターの菱池ですが、私、ベルというマンション群の中に住んでいまして、区に対しては、ほとんど不満もなく、こんな便利で安心なまちはないと、いつも安心して暮らしておるんですが、皆さん、いろんな意見持って、それを聞いてよかったと思っています。

私、都島区に住んでみて一番思うんですけども、やっぱり都島区自体が魅力あるまちだと思っています。移り住んできた人は、もうほとんど魅力あるところはいたら梅田なんですよ。その梅田に電車が4本も通っている。自転車でもある程度行けるような土地なので、本当にこの都島区はいい土地だと思っています。その中

で、こんなまちづくりビジョンを一生懸命考える区役所は相当苦勞していると思っています。ご苦勞さまです。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございます。お褒めいただいたので、区役所の方もきっと喜んでいただけるかと思います。また、インターネットで配信されているので、どれぐらいの方が、今、生でしか配信されていないので、どのぐらいの方が今の本当にお褒めの言葉聞いておられるか分かりませんが、そういった意見もご感想も、きっと区外の方に届くと、都島区に住みたいと思われると思います。そういった意見とかを反映させて、さらによい区政をお願いできればと感じました。

皆さんに今日は最低一回ずつご意見いただいたと思うんですけども、大丈夫ですね、ご発言なかった方はいらっしゃらないですね。

それでは、8時半となっておりますので、あと一方だけになると思うんですけども、これは言っておきたかったという方。

では、花田委員、お願いします。

【花田委員】

何回も申し訳ないんですけども、一つはちょっと議長にお願いと、もう一つは区長にお願いがございます。

1点、議長にお願いというのが、細かい意見とか質問とかって、多分皆さん持っていらっしゃると思うんですけども、例えば何日までにどういう形式で提出したらこの場で発言したのと同じ扱いになりますよというふうな仕組みを、以前、旭区におりましたときにこの区政会議でやっていたことがあるんです。それに同様の何か仕組みを入れていただくことはできないでしょうかというのが1点目です。

これは議長にお願いです。今すぐお返事が欲しいというわけではございません。実は、読んでおりましたが、せっかくだったら伝わるようにこういう表現を入れたらいいのになとか、ここの部分は、こことここが関係あるはずだからと思うところもありますので、そういうのはわざわざこの場では言いにくいので、ぜひお願いしたいというのが1点目です。

もう一つは、区長になんですけども、前回の会議のときに、区長から、万博の機運醸成やSDGsの推進を通じて都島区の豊かな環境や人の魅力をもっと広げていきたいということをして令和6年度に向けての思いとしてお聞きをしておりました。実際には、予算等には反映されていると思うんですけども、今回、この運営方針の中で万博とかSDGsという記載がどうもないように思ったんです。もしあったらごめんなさい。ないように思っておまして、どこかに、大きな方向性でありますとか具体的な魅力発信につながるようなところであるとかに、万博の機運醸成であったりとかSDGsの推進だったりとかというところをちょっと明記していただくことで、万博の前の年になりますので、アピールができるのではないかなと思ってお願いをしたいと思います。

以上です。

【高野議長】

私のほうは、ちょっと預かりということなので、ちょっとご本人とまたお話をして、どのようにさせていただくか、私の権限外のところがちょっとあるかなと思ったので、今、即答は、後ほどにさせていただきます。

では、区長にお願いします。

【藤岡区長】

ご意見ありがとうございます。

万博のテーマということで、SDGsという話、確かにここにはそういう明確な記載はしておりませんが、施策の中でいろいろな場面でSDGsに関わる内容が盛り込まれていると私は理解しております。特に、環境であるとか、あるいは人権に関わる施策という形で様々に展開をしていっております。

SDGsなんですけれども、特に区民の皆さんが我が事として取り組まれるということが非常に大事になってきますので、それに関しては、SDGsに取り組んでいる方々のご紹介であるとか、あるいはそういう企業さんのご紹介であるとか、例えばその広報活動の中で積極的に皆さんに身近に感じていただけるような発信あるいはSDGs、今、環境局のほうといろいろ、今年度、取組を進めていきたいと私のほうからお願いをしております。その中で市として取り組む内容を区の中で積極的に展開する、それは費用はかからないのでこの中には書いておりませんが、そういったことについて考えております。

また、万博の中でSDGs、そしてウェルビーイングということで、特に心の問題、そして健康の重視という形でいいますと、先ほど施策の中でご紹介させていただきましたが、この3月23日に開催しますみやこじまりパーティスは、今年、新しく開催する運びになっております。その中では、特に子どもたちが環境、子どもたちだけではないですね、区民の皆さん、あるいは来訪される区外の皆さんが、この都島区の環境をしっかりと、魅力を認識しながら取組を進めていただけるような、スポーツであるとか、そして健康的なウォーキングであるとか、あるいは万博のヘルスケアパビリオンとの連携したイベントであるとか、そういった形で。SDGsといったら、みんな、あんまり言葉って分かりにくいんですが、身近に感じていただけるような、こういうこともつながっているんだなというようなところを区政運営の中でちりばめながら、皆さんに自然と入っていただけるような施策の表現をさせていただいている次第でございます。

本日、先ほど来、防災教育のお話等もございまして、特に子どもたちが地域と関わる、そして子どもたちが地域の防災の一員として運営に関わるということがこれから特に大事になってくると思っております。特にこの1月1日に発生しました能登半島地震ということがあって大変な状況になっておりますけれども、私、地域の方々に接する機会、特にやっぱり防災意識がすごく高まってきていると感じております。

そういうこともございまして、教育行政連絡会、学校の校長先生たちが集まる機会、ぜひ地域と学校とで連携して防災訓練をしていただきたいという、これは学校の全体のスケジュールの関係であるとか、来年度の計画に盛り込んでいただきたいという意味でお伝えした内容なんですけど、そういった一人一人が関わりながら、この都島区をとっても住みやすい、先ほど言うていただきました、お褒めいただきましたが、そういったまちづくりを進めていきたいと思っております。

ちょっと、いろいろしゃべってしまって申し訳ございません。

まちづくりビジョンなんですけれども、都島区といいましても、非常にエリア的にいろんな性格があります。三方を川に囲まれた川沿いのとても緑が豊かなエリアであるとか、先ほどお話ししました京橋のとてもにぎわいのあるエリアであるとか、そういったところの魅力をさらに生かしながら、人が集まる、そして企業誘致を図って、どんどん都島の魅力を活性化するための取組としてのビジョン策定、2040年を目標にしたという形ですので、その中にも、やはりそのウェルビーイングと、皆さんがやっぱり満足を持っていただけるような施策

に展開するという意味では、官民連携、そして皆さんの意見収集、そういうところをしっかりとやりながら進めていきたいと思えます。どうもありがとうございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

以上になります、よろしいでしょうか。

それでは、たくさんのご意見、ご質問等ありがとうございました。第2回区政会議は、質疑応答は以上となります。

それでは、ご多忙の中、市議員の方にご臨席を賜りました。それでは、大阪市議員の荒木市議員にご挨拶をお願いしたいと思えます。お願いします。

【荒木議員】

皆様、本当にお疲れさまでございます。

年度末で大変お忙しい中、区政会議、ご出席いただき、活発なご議論いただき、本当に頼もしいと思えますか、心強く思っておるところでございます。

いろいろお話ししたいことがあるんですけども、ちょっと区役所のほうに質問というか、今、区長がおっしゃったんですけど、このまちづくりビジョンなんですけども、区政会議のメンバーの皆さんが、このビジョン作成に当たって、どう参画されていくのかが見えないというか、分からないと思っております。どなたがつくっていかれるかというような感じのことと、これ予算が全くないので、今後どのようにこのビジョンの作成について進めていかれるのか、精査・分析も職員の方がされるのかどうかとか、その辺でちょっと疑問に思いました。

それと、1点だけ、すみません。

これは、ちょっと皮肉になっちゃうんですけども、令和4年に作成では遅いんじゃないかなと。つくられるんやったら、すみません、令和5年度中というのは大変難しいかなと思っておりますけども、少なくとも令和7年度に作成であれば、丸2年半、3年近く議論を重ねられるのかなと思うので。区長の任期に最後にまとめられるんだと思いたったんですけど、その辺の方向性というか、これは質問というよりも、これ説明を聞いていての意見というか、そのようにお聞きいただいて結構です。すみません、ちょっと先ほど浦出委員がおっしゃったように、本当に素朴に疑問に思われるのが自分も同じ疑問でした。

大阪市的に言うと、いわゆるランドデザインであったりマスタープランであったり、同じようなものだという位置づけかなと思っておりますが、ちょっとこれ、質問というより意見として区に投げおきたいなと思っております。

以上です。ありがとうございます。

【高野議長】

お忙しい中ご出席いただき、荒木議員、ありがとうございました。

それでは、藤岡区長から一言いただきたいと思えます。区長、お願いします。

【藤岡区長】

皆様、お疲れさまでございます。今日は本当に貴重なご意見、そしてアイデアも含めて活発な議論いただき

たと思います。ありがとうございます。これを機会に、よりよい区政運営に向けて進めてまいりたいと思います。

今年度も、もうあと数週間、2週間ぐらいになっておりますけれども、来年度、令和6年度を皆さんと一緒に、いろんな意見を集約しながら進めてまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

【高野議長】

これで、本日予定しておりました議題につきましては終了いたしました。お時間の都合で十分なお質問等、ご意見いただけなかったこと、おわび申し上げます。活発なお意見、ご質問等いただき、本日も議事が進みましてありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

【吉村課長】

本日は、議長、副議長をはじめ各委員の皆様方におかれましては、長時間ご議論いただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、本日の区政会議を終了させていただきます。皆様、お疲れさまでございました。ありがとうございました。